

令和 5 年第12回教育委員会定例会次第

開催日時 令和 5 年12月15日（金）午後 1 時30分から

開催場所 春日井市役所 南館 4 階 第 3 委員会室

1 議 題

- (1) 小中学校プールの今後のあり方について
- (2) 教職員等の処分について

議題1 小中学校プールの今後のあり方について

民間プールの活用について、意見を求めるもの。

小中学校プールの今後のあり方について

1 現状

学校プールは昭和40年代から50年代にかけて建設されたものが多く、校舎と同様に老朽化が進んでいます。これまで修繕等を実施し維持してきましたが、漏水なども発生しており多くの学校で今後の改修が喫緊の課題となっています。

また、プール期間中の水質管理等は教員の負担となっており、負担軽減についての要望も出ています。

現在、他市町村では民間プール等を活用した授業の実施が進んでいます。本市においても、今後見込まれる学校プールの更新・維持管理と民間プールを活用した場合のコストを比較し、維持管理費の抑制と教育環境の向上を図るための検討を行いました。

2 プールに関する経費

(1) 現在の年間維持管理費

	1校あたり（千円）
光熱水費、委託料、修繕料	2,000

(2) 今後の学校プール更新等にかかる建設費

	1校あたり（千円）
建替え（解体含む）	250,000
大規模改修（小工事含む）	135,000

(3) 民間プールを活用した場合の年間委託費

	1校あたり（千円）
民間プール（送迎含む）	5,200

3 今後 40 年間にかかる 1 校あたりのコスト比較

	今後 40 年間 (千円)	40 年後
建替える場合	330,000	大規模改修が必要
大規模改修する場合	215,000	建替える必要
民間プールを活用する場合	208,000	—

4 民間プールを活用した場合のメリット及びデメリット

メリット	・更新・維持管理にかかるコストを軽減できる。 ・天候に左右されず年間を通じて計画的な授業が可能となる。 ・専門のインストラクターによる指導が受けられる。 ・水質管理等にかかる教員の負担を軽減できる。
デメリット	・移動時間を考慮しなければならない。 ・民間プールの廃止や受入れ状況等が変わる可能性がある。

5 検討結果

民間プールはすべての小中学校を受け入れるだけの時間数を確保することが難しいこと、中学校は授業時間の確保や部活動などの要因もあることから、中学校については学校プールを維持します。

小学校については、児童数が減少していく中で、年間の使用日数が極めて少ない学校プールを維持していくよりも、民間プールの利用に移行した方が教育的効果も高く、経費削減につながるため、民間プールを活用します。

利用しなくなる小学校のプールについては、大規模改修の設計時に敷地全体の利用計画に合わせ解体等も含めた検討を行います。

6 スケジュール

令和6年度 民間プールと市温水プールを活用し半数程度の小学校で実施

令和7年度 全小学校に拡大

7 民間プール等を活用した授業

- (1) 授業時間 120分／回（移動・更衣を含む）
- (2) 授業回数 4回
- (3) 授業内容 学校と民間プール事業者で事前に実施内容、指導方法を調整のうえ決定
- (4) 移動方法 バス、徒歩（0.5km以内）

議題2 教職員等の処分について